

平成25年8月28日

各位

今年度20歳を迎える女性の皆様へ「熊本市子宮がん検診」のご案内

熊本市では、20歳以上の女性を対象に「子宮がん検診」を実施しています。

日本人のおよそ2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなっています。子宮がんはがんができる場所により、「子宮頸がん」と「子宮体がん」に分かれますが、「子宮頸がん」は、特に20歳～30歳代の若い女性に急激に増えています。

「子宮頸がん」は性交渉によるHPV（ヒトパピローマウイルス）の感染が関係するといわれています。多くの場合、初期にはまったく症状がないために、自覚症状が出たときには「がん」が進行しているということも少なくありません。子宮頸がんの発症によって妊娠・出産をあきらめなければならない場合もあります。

また、子宮頸がん予防ワクチンを接種した場合でも、全てのウイルスに予防効果がある訳ではなく、全体の60%程度のカバーしかできない状況です。

がん検診を定期的に受け、早期のうちにがんを発見し治療することで、治る可能性も高くなります。

今回の案内は、今年度20歳を迎える女性の皆様へお送りし、熊本市の「子宮がん検診」をおすすめするものです。同封のリーフレットをご確認いただき、是非20歳の記念に受診いただきますようお願いいたします。

なお、がん検診は一度受けて異常がなかったから安心というものではありません。子宮頸がんの早期発見のためには2年に1度の検診を受けられることをおすすめします。

【問合せ】

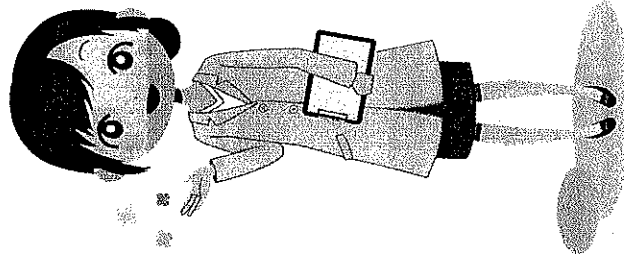
熊本市健康づくり推進課 健康まちづくり推進班

電話：096-328-2145

e-mail：kenkouzukuri@city.kumamoto.lg.jp

子宮頸がんワクチンを接種した方も、  
20歳になったら子宮がん検診を  
受けることが大切です。

子宮頸がん予防ワクチンは、子宮頸がんの  
原因となる全てのヒトパピローマウイルス  
(HPV)に予防効果がある訳ではありません。  
ワクチン接種をした方も、20歳になったら必  
ず2年に1度の子宮がん検診を受けましょう。  
定期的に検診を受ければ、がんになる課程  
の異常(異形成)やごく早期のがんの段階  
で発見できることが多く、経過観察や負担の  
少ない治療で済むことも多いです。



平成25年度 子宮がん検診実施医療機関一覧

小学校区	医療機関名	電話番号
一新	福田病院	322-2995
碩台	あつじレディースクリニック	356-9325
城東	ヘルスアートクリニックくまもと	319-5656
	ソフィアレディースクリニック水道町	322-2996
白川	くまもと森都総合病院	364-6000
	田代産婦人科医院	362-1414
春竹	ゆのはら産婦人科医院	372-1110
大江	伊井産婦人科病院	364-4003
出水	八木産婦人科医院	383-2311
常山	聖アンナレディースクリニック	381-9670
	福岡レディースクリニック	382-3600
黒髪	吉村産婦人科内科学皮膚科医院	345-8300
砂取	くわみず病院	381-2248
	森川レディースクリニック	381-4115
健軍	ART女性クリニック	360-3670
	田畑こどもレディースクリニック	214-7112
健軍東	熊本県総合保健センター	365-2323
桜木	桑原産科婦人科医院	365-4103
	濑江産科婦人科	365-5050
泉ヶ丘	福岡印出産婦人科医院	367-2333
長瀬	ウィメンズクリニックグリーンヒル	360-5511
月出	長瀬そよかせクリニック	285-4121
	日赤熊本健康管理センター	387-6710
秋津	レディースクリニックなかむら	213-1555
	熊本心身医療クリニック	285-7721
城西	慈恵病院	355-6131
古町	未永産婦人科医院	362-7280
田迎	産科・婦人科うしじまクリニック	379-2727
	前田産婦人科医院	378-8010
清水	朝日野総合病院	344-3000
楡木	片岡産婦人科医院	339-1103
北部東	北熊本井上産婦人科医院	345-3911
植木地域	清田産婦人科医院	273-4111
菊陽町	菊陽レディースクリニック	213-5656
宇土市	田山産婦人科医院	0964-22-5522
宇城市	まつばレディースクリニック	0964-34-0303

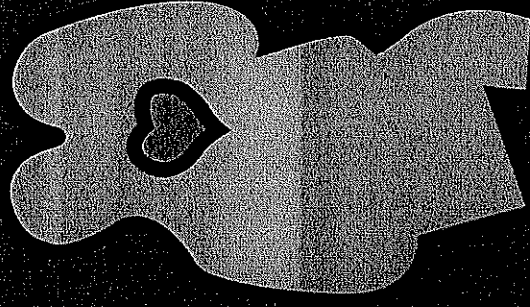
※日赤熊本健康管理センター、菊陽レディースクリニックは予約が必要です。  
※一部地域において検診車による集団検診を実施しています。  
※実施医療機関一覧は、平成25年6月現在のものです。実施医療機関は  
明細を別紙にてお送りいたします。

子宮がん検診を  
受けましょう!

子宮頸がんは30歳代後半~40歳代に多く発症  
しますが、最近はいよりの若い世代で増加傾向にあ  
ります。早期がんならば、完治の可能性はぐっと  
高くなります。早期発見のために、子宮がん検診  
を2年に1回は受けましょう。

防げる、子宮頸がん。

検診を受けてみる、パートナーに助けてみる、未来を考えてみる。



がん検診のお問い合わせ

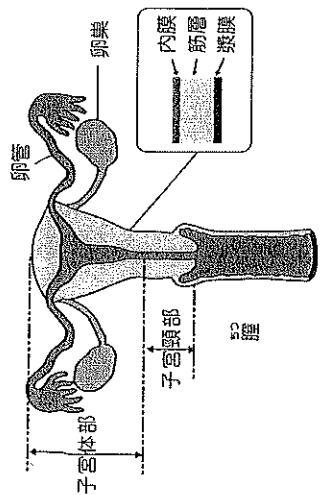
熊本市健康づくり推進課

電話 096-328-2145

E-mail kenkouzukuri@city.kumamoto.lg.jp

# 子宮がんとは?

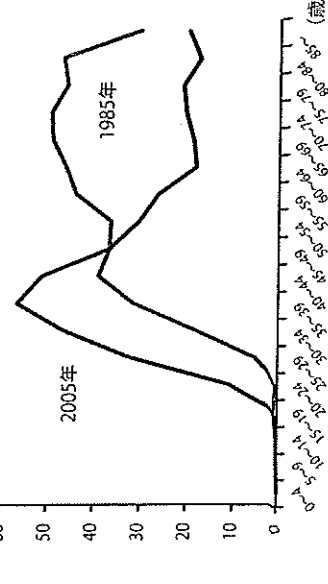
子宮がんには、がんができる場所によって子宮頸がんと子宮体がんの2種類があります。



# 子宮頸がんについて

子宮頸がんは、子宮の入り口(頸部)にできるがんです。子宮頸がんは、性交渉によりHPV(ヒトパピローマウイルス)に感染し、それが持続感染することにより発症します。このウイルスに感染すること自体はめずらしいことではなく、その多くは自然に治ります。しかし、治らずに長期間感染が続いた場合、数年～数十年後に子宮頸がんになることがあります。30歳～40歳代で子宮頸がんにかかる人が最も多くなります。また、この20年間では、20歳～30歳代で急激な増加がみられます。

# 子宮頸がん発生率の推移



出典:国立がん研究センターがん対策情報センター

# 子宮頸がんは検診で早期発見が可能です

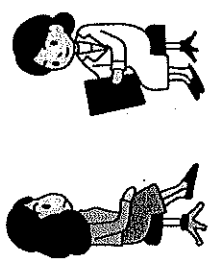
子宮頸がんは、ほとんどの場合初期には全く症状がありません。若い世代では妊娠をきっかけに子宮頸がんが発見されることもめずらしくありません。しかし、子宮頸がんは、早期に発見することで治療によって治せる可能性も高くなります。子宮頸がんの早期発見のためには2年に1回、検診を継続して受診することをお勧めします。

# 子宮体がんについて

子宮体がんは、子宮の奥の方の体部におきるがんです。50歳～60歳代で最も多くなります。初期の段階で出血が認められることが多く、不正出血での発見が約90%といわれています。  
⇒少量でも出血があれば、すぐに医療機関を受診することにより早期発見が可能です。

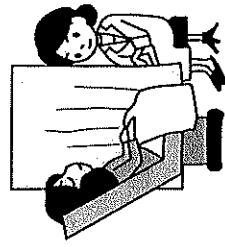
# 子宮がん検診って何をやるの?

## ①問診



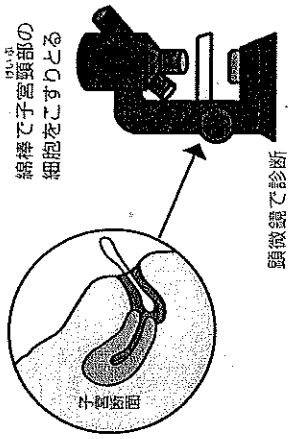
初期の年齢や生理の具合、妊娠・出産の経験、自覚症状などを問診票に記入します。その上で、診察室で医師からの質問に答えます。

## ②視診③内診



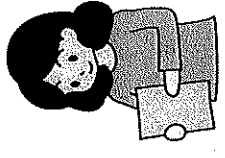
内診台にあっていただき医師が子宮頸部の状態を目で確認し、子宮全体と卵巣・卵管などを触ってチェックします。

## ④細胞診



子宮頸部の表面(粘膜)を綿棒などで軽くこすりとった細胞を顕微鏡で調べます。このときほんの少し出血することもあっても、痛みなどはほとんどありません。

## ⑤検査終了



診察時間は、10～20分です。約4週間で、細胞診の結果も含めた検査結果がわかります。(結果は郵送します。)